

〈目次〉

- サステナビリティに関する情報開示の考え方
- 編集方針
- 会社情報
- コーポレートミッション
- 新型コロナウイルス感染症への対応と影響
- 森永乳業のサステナビリティ
- 7つの重要取組課題
- 経営理念と重要取組課題
 - 7つの重要取組課題
 - 重要取組課題の策定
 - 取り組み目標の設定
 - 今後の課題解決に向けて
 - 健康・栄養
 - 環境
 - 人権
 - 供給
 - 次世代育成
 - 人財育成
 - コーポレート・ガバナンス
- 方針等
- 第三者保証
- 国連グローバル・コンパクト対照表
- GRIスタンダード対照表

7つの重要取組課題

経営理念と重要取組課題

コーポレートスローガン

かがやく“笑顔”のために

経営理念

乳で培った技術を活かし
私たちならではの商品をお届けすることで
健康で幸せな生活に貢献し豊かな社会をつくる

森永乳業グループ10年ビジョン

Vision 1 | 「食のおいしさ・楽しさ」と「健康・栄養」を両立した企業へ

Vision 2 | 世界で独自の存在感を発揮できるグローバル企業へ

Vision 3 | サステナブルな社会の実現に貢献し続ける企業へ

2020年3月期～2022年3月期 中期経営計画

基本方針Ⅰ

4本の事業の柱横断取り組み強化による持続的成長

基本方針Ⅱ

経営理念実現に向けたESGを重視した経営の実践

基本方針Ⅲ

企業活動の根幹を支える経営基盤の更なる強化

7つの重要取組課題に対応したKPI



森永乳業は、2017年4月、100周年を機に経営理念のもと「かがやく“笑顔”のために」というコーポレートスローガンを掲げました。

そして、2018年に多くの従業員が参加し、私たちの大きな目標である「かがやく“笑顔”あふれる豊かな社会の実現」を目指すために特に優先的に取り組むべき7つの重要取組課題を選定しました。

さらに2019年5月には「森永乳業グループ10年ビジョン」とともに、2020年3月期から2022年3月期までの3年間を対象とする中期経営計画を公表しました。この中期経営計画において示した基本方針Ⅱ「経営理念実現に向けたESGを重視した経営の実践」を進める上で、あらかじめ定めた7つの重要取組課題の取り組み状況を管理するKPIを設定し、取り組んでいます。

WEB

新中期経営計画策定に関するお知らせ
▶ <https://www.morinagamilk.co.jp/release/newstentry-3135.html>

REPORT

▶ 詳細はP.21「取り組み目標の設定」参照

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

経営理念と重要取組課題

> 7つの重要取組課題

重要取組課題の策定

取り組み目標の設定

今後の課題解決に向けて

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

7つの重要取組課題

「かがやく“笑顔”のために」

このコーポレートスローガンに基づき、森永乳業は7つの重要取組課題を策定しました。次の100年に向けて、サステナブル(持続可能)な社会をつくるため、そして人々の健康に貢献する企業でありつづけるための指針となります。

●健康・栄養

「かがやく“笑顔”」を実現する機能性とおいしさを兼ね備えた商品を開発・販売し、健康・栄養をお届けします。

- ・「栄養価の高い商品」「嗜好性の高い商品」に対する社会のニーズは高く、また、中長期的には高齢社会が加速することは避けられません。森永乳業独自の研究開発力で、心身ともに健康な社会生活の実現に貢献することをめざします。
- ・人口減少・高齢化が進む中、商品力だけでなくライフスタイルを変革する技術やサービスの創造・提供をめざします。

●環境

省エネルギー、廃棄物削減に取り組みながら安全・安心な商品を製造し、サステナブルな社会づくりに貢献します。

- ・「気候変動」「森林」などに与える影響を考慮した企業活動を実践します。
- ・限りある資源を有効に活用するためにも、食品ロスの削減に取り組むことを急務とします。

●人権

人権に配慮した事業活動を行い、多様性を尊重し、あらゆる人々が能力を十分に発揮できる環境をつくります。

- ・持続可能な社会形成のために、「人」は特に重要な経営資源だと考えています。すべての人の「かがやく“笑顔”」を実現するために、ダイバーシティ(多様性)&インクルージョン推進をはじめ、さまざまな人権課題を社外関係者とともに協力して取り組んでいきます。



●供給

安全・安心を重視した原材料調達と製造を経て、高品質な商品を安定的にお届けします。

- ・将来的な乳原料の不足に備え、新たな乳原料を使いこなせるよう研究所や工場などと協働しながら、配合設計の研究を重ねています。
- ・安全は、当社の中でも最も重要な取組項目です。現在も行っている安全への取り組みを、引き続き実施していきます。



●次世代育成

サステナブルな社会づくりに貢献する子どもたちの健やかな成長を応援します。

- ・子どもたちの明るい未来のために、森永乳業は心身の成長やキャリア教育、そして子育てを支援する活動を行っています。



●人財育成

「かがやく“笑顔”」を実現する人財の育成に力を入れていきます。

- ・新入社員から経営層まで幅広く人財を育成することは、企業の持続的な成長につながります。一人ひとりの適性を活かし、能力をのばすことのできる制度構築をめざします。



●コーポレート・ガバナンス

持続的な成長と企業価値の向上の実現に向けて、実効性の高いガバナンス体制の整備および充実に継続的に取り組みます。

- ・ステークホルダーとの対話、積極的な情報開示を通して、適切なコミュニケーションをはかっていきます。
- ・経営層からの継続的なメッセージとともに、ルールの整備、従業員の意識の醸成、サプライヤーとの公正な取引など、内部統制の構築に取り組んでいます。



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

経営理念と重要取組課題

7つの重要取組課題

重要取組課題の策定

取り組み目標の設定

今後の課題解決に向けて

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

重要取組課題の策定

「かがやく“笑顔”」をめざして求められる7つの課題を策定

森永乳業は、2017年4月、新コーポレートスローガンを含むグループ理念体系を策定し、発表しました。

2018年、次のステップとして行ったのが、重要取組課題の策定です。

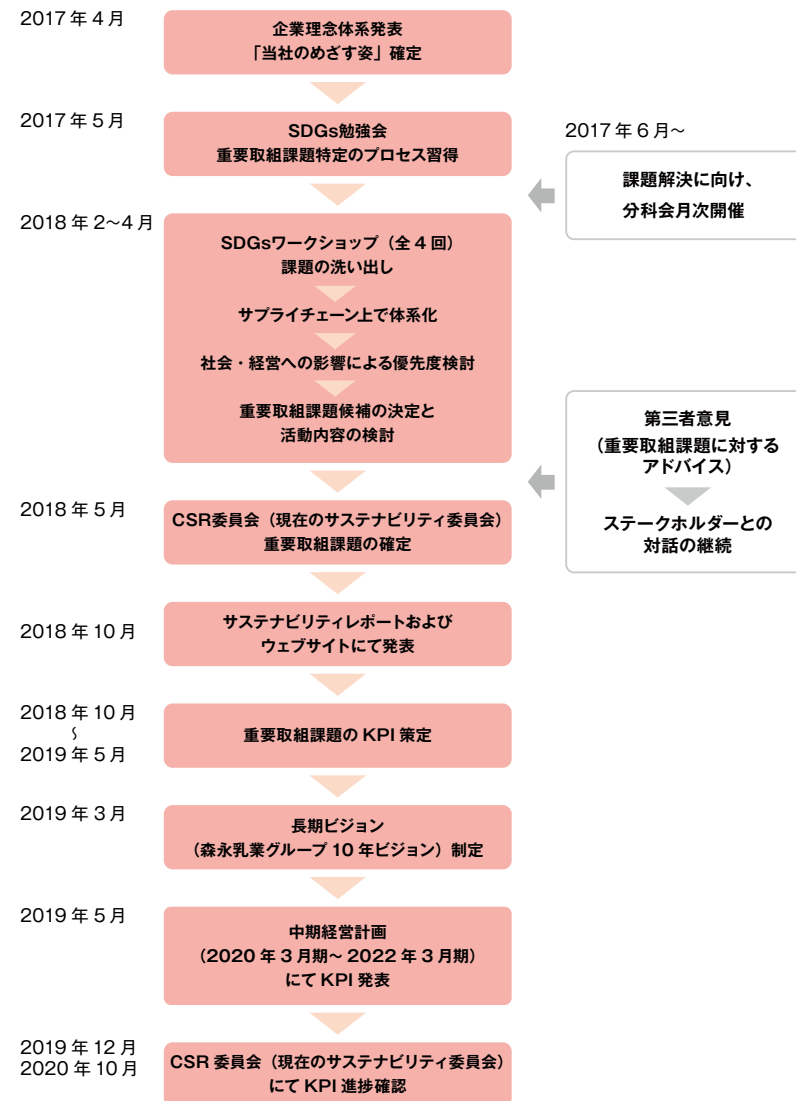
重要取組課題は、私たちの大きな目標である「かがやく“笑顔”あふれる豊かな社会の実現」を目指すために特に優先的に取り組むべき項目です。

策定にあたっては、計4回にわたるワークショップを開催。さまざまな部署から約30名の従業員が参加し、取り組むべき課題を抽出しました。そして協議を重ねて7つの大きな課題を策定し、CSR委員会（現在のサステナビリティ委員会）で承認されました。

持続可能な社会への貢献をめざして

策定にあたっては、行動指針はもちろんのこと、GRIガイドライン、ISO26000、国連が提唱するSDGsコンパスなどを参考にしました。策定した重要取組課題への取り組みを通じ、森永乳業が企業市民として持続可能な社会の実現に貢献できると、私たちは考えています。

重要取組課題策定の流れと進捗



〈目次〉

- サステナビリティに関する情報開示の考え方
- 編集方針
- 会社情報
- コーポレートミッション
- 新型コロナウイルス感染症への対応と影響
- 森永乳業のサステナビリティ
- 7つの重要取組課題
- 経営理念と重要取組課題
- 7つの重要取組課題
- 重要取組課題の策定
- 取り組み目標の設定
- 今後の課題解決に向けて
- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

- 方針等
- 第三者保証
- 国連グローバル・コンパクト対照表
- GRIスタンダード対照表

サプライチェーンでの課題抽出

原材料の調達から製造、販売、廃棄に至るまで、森永乳業の活動は多岐にわたります。7つの重要取組課題を策定した際、サプライチェーン全体で課題解決のために当社が行う具体的な取り組みを決め、その中で特に重要だと思われる項目を特定しました。各部署・部門が連携し、それぞれの課題に取り組んでいます。

サプライチェーンにおける重要取組課題と具体的な取り組み



WEB → 詳細はサステナビリティサイトへ
 ▶ <https://www.morinagamilk.co.jp/csr/materiality/>

持続可能な開発目標 (SDGs)

SDGs (Sustainable Development Goals) は、国連が定めた持続的な開発に関する17の目標と169のターゲット。2015年に採択され、2030年までに達成することを目指しています。「誰一人として取り残さない (Leave no one behind)」を基本とし、経済格差、持続可能な消費や生産、気候変動対策など、世界が抱える問題を解決するために、各国政府やNGOだけでなく、民間企業もまた日々の活動を通して、取り組んでいくことが求められています。森永乳業は、このSDGsの達成に寄与することを目指しています。



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

経営理念と重要取組課題

7つの重要取組課題

重要取組課題の策定

> 取り組み目標の設定

今後の課題解決に向けて

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

取り組み目標の設定

2019年度から新しい3カ年の中期経営計画がはじまりました。中期経営計画では、新たな基本方針の中に「経営理念実現に向けてESGを重視する経営の実践」を盛り込みました。この基本方針のもと、7つの重要取組課題の考えを示すとともに、それぞれの課題に対する取り組み目標（KPI*）を設定しました。

※ KPI (Key Performance Indicator)

活動の進捗状況や達成度を客観的に評価・管理するための数値指標。

健康・栄養

基本的な考え方

「かがやく“笑顔”」を実現する機能性とおいしさを兼ね備えた商品を開発・販売し、健康・栄養をお届けします。



活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
健康寿命延伸に対する貢献	栄養機能性素材を取り入れた商品の市場投入	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビヒダス ヨーグルト 便通改善」等の機能性表示食品、健康・栄養をサポートする商品を複数発売（▶P.28） ・次世代ヘルスケア事業のさらなる推進
	健康維持に寄与する栄養機能性素材についての情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「健幸サポート栄養士」による、健康セミナービジネスの本格化 ・「ビフィズス菌トレプロジェクト」ビフィズス菌等に関する健康情報発信による生活者の健康意識向上と行動変容を促進（▶P.29） ・「シンポジウムや展示会など」健康寿命延伸に関する研究情報、論文のリリース 計15件（▶P.30） ・レシビの発信等 55件
乳幼児の健やかな成長への貢献	ビフィズス菌（M-16V）の提供。国内外で120以上の施設での提供継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビフィズス菌 M-16V」のNICU（新生児集中治療室）などへの提供。国内外で150以上の施設での提供継続（▶P.32）

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

経営理念と重要取組課題

7つの重要取組課題

重要取組課題の策定

> **取り組み目標の設定**

今後の課題解決に向けて

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

環境

基本的な考え方

省エネルギー、廃棄物削減に取り組みながら安全・安心な商品を製造し、サステナブルな社会づくりに貢献します。



活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
生産部門を中心としていた環境活動を、連結対象会社全部門に拡大	ISO 14001 認証事業所： 2030年度までに連結対象の全事業所で取得	<ul style="list-style-type: none"> ● 認証事業所数：34事業所（2021年3月31日時点）*（▶P.39） ● 2020年度：1事業所認証取得（商品センター）
	2021年度までにグループ全体でスコープ1、スコープ2を把握	国内生産事業所のスコープ1、スコープ2について第三者保証を取得（▶P.43）
生産における環境負荷削減	CO₂ 排出量原単位削減： 2021年度までに2013年度比8%削減 2030年度までに2013年度比20%削減 2050年度までに2013年度比80%削減	● 2013年度比14.1%減（▶P.42）
	食品廃棄物発生量原単位削減： 2021年度までに2013年度比30%削減	2020年度は2013年度比27.1%削減（▶P.46）
	産業廃棄物排出量原単位削減： 2021年度までに2013年度比33%削減	2020年度は2013年度比30.0%削減（▶P.46）
	埋立廃棄物量削減： 2021年度までに年間排出量300t未満 2030年度までにゼロ	2020年度は年間排出量354t（▶P.46）
	用水使用量削減： 2021年度までに年間使用量2013年度比9%削減	2020年度は2013年度比6.2%削減（▶P.48）
サプライチェーン全体の環境負荷削減	2021年度までにスコープ3の15中6カテゴリ算定	10カテゴリ算定済み。残り5カテゴリについても検討を行い、スコープ1および2に含めるもの1カテゴリ、本業との関連が低いもの4カテゴリに分類済み（▶P.43）
環境に配慮した容器包装の使用促進	容器包装リサイクル法対象プラスチック容器包装の重量： 2013年度比10%減	2013年度比15.4%減（▶P.50）

*東洋醸造株式会社（2020年5月解散）は、認証サイト合計数から削減しています。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

経営理念と重要取組課題

7つの重要取組課題

重要取組課題の策定

> **取り組み目標の設定**

今後の課題解決に向けて

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

人権

基本的な考え方

人権に配慮した事業活動を行い、多様性を尊重し、あらゆる人々が能力を十分に発揮できる環境をつくります。



活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
ステークホルダーとの対話による人権課題の特定と対策	ステークホルダーとの対話実施	経済人コーポラティブ日本委員会が運営する「ステークホルダー・エンゲージメントプログラム」に2020年度は2名参加(▶P.52)
サプライヤーによる人権侵害事案の把握	CSR調達アンケートによる実態把握	2019CSR調達アンケートを実施(2019年5月実施)(▶P.54) (3年毎実施の為、次回実施は2022年)
自社経営に影響を及ぼす原材料ならびに納入先の特定	重要サプライヤーのリスト化	重要なサプライチェーンでの確認・調査スキームの検討開始(▶P.54)
当社グループ(協力会社含む)の外国人従業員への対応	当社グループの外国人従業員の労働環境整備	国内子会社向け業務監査チェック項目に「外国人従業員に対する適正な雇用管理」に関する項目を新たに追加(▶P.55)
ダイバーシティ&インクルージョンの推進	【2027年度目標】 在宅・サテライト勤務者数、有給休暇取得率、女性採用比率、女性管理職数、配偶者出産休暇取得率、男性育児休業取得率、介護離職者数	2020年度実績(▶P.55) (1)在宅、サテライト勤務実施者数 1,980名 (2)年次有給休暇取得率 70.2% (3)新卒時女性採用比率(事務営業職・研究開発職計) 41% (4)女性管理職数 47名 (5)配偶者出産休暇取得率 84.7% (6)男性育児休業取得率 44.1% (7)介護離職者数 1名

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
 編集方針
 会社情報
 コーポレートミッション
 新型コロナウイルス感染症への対応と影響
 森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
 経営理念と重要取組課題
 7つの重要取組課題
 重要取組課題の策定
 > **取り組み目標の設定**
 今後の課題解決に向けて

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等
 第三者保証
 国連グローバル・コンパクト対照表
 GRIスタンダード対照表

供給

基本的な考え方

安全・安心を重視した原材料調達と製造を経て、高品質な商品を安定的にお届けします。



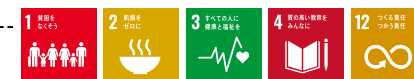
活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
原料リスクに応じた効率的なサプライヤーマネジメント	原料リスク等によりサプライヤーの管理レベルを評価する仕組みの強化	クラスに応じたサプライヤー監査を2020年度は16工場で実施(▶P.64)
安全かつ高品質な商品提供のための体制づくり	FSSC22000を2020年度中に当社グループ全29工場 [※] で取得	<ul style="list-style-type: none"> ● 認証工場数: 24工場(国内)(2021年3月31日時点)(▶P.67) ● 認証取得への取り組みを加速し、計画を上回って着地
主要原材料の供給リスク対応	主要原材料の複数社購買、地域分散購買	地域分散購買の取り組み推進中(▶P.68)
	RSPO認証パーム油の使用拡大	ブック&クレームへ100%切り替え達成済(2021年3月31日時点) マスバランスへの切り替えに取り組み中(▶P.69)

※生産中止等の関係から、2020年10月、対象工場数を23に変更しました(変更前:29)。

次世代育成

基本的な考え方

サステナブルな社会づくりに貢献する子どもたちの健やかな成長を応援します。



活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
健康で豊かな生活の基礎力を獲得するための食文化や栄養を学ぶ場の提供(食育講座、キッズシアター)	2019年から3年間の延べ参加者数30万人	コロナ禍においてオンライン型イベントをトライアルも含めて実施し、次世代育成の機会を継続して創出(▶P.77)
自然の恵みと、それを活かす技術・研究を学ぶ場の提供(工場見学、森と食の探検隊、キャリア教育)		
次世代を育成する環境の整備	エンゼル110番での継続的な育児相談の実施。2020年度で延べ100万人の相談を受け付け	相談受付延べ人数約99万人(2021年3月31日時点)(▶P.79) ● 2020年度:エンゼル110番社内向けオンライン型イベントを新たに実施

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

経営理念と重要取組課題

7つの重要取組課題

重要取組課題の策定

> 取り組み目標の設定

今後の課題解決に向けて

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

人財育成

基本的な考え方

「かがやく“笑顔”」を実現する人財の育成に力を入れていきます。

活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
経営理念の浸透	従業員公募型フォーラムの毎年開催	2020年度参加者数 166名 (▶ P.84)
ダイバーシティ&インクルージョン推進による、従業員一人ひとりの自律的な成長促進	女性リーダー研修、仕事と子育ての両立を促す研修、プレマネジメント研修の継続的な実施と、若手従業員の人財部による面談実施	オンライン型で研修・面談等を継続して実施 (▶ P.85)
グローバルなビジネス環境で活躍できる人財の育成	グローバル人財育成プログラムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ参加者数 148人 (2021年3月31日時点) ・2020年度 52人参加 (▶ P.86)
健康経営の実践を通じた人財の育成	健康診断の「危険値に該当する者」の2次検診・再検査受診率の向上: 80% (2023年) メンタルヘルス教育の受講率: 100% (2023年)	メンタルヘルス教育の受講率: 94.3% (▶ P.88)

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

持続的な成長と企業価値の向上の実現に向けて、実効性の高いガバナンス体制の整備および充実に継続的に取り組みます。

活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
取締役会における、多様な価値観に基づいた、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定	取締役会評価における評価点およびコメントの内容 (取締役会の多様性、審議内容)	独立社外取締役の取締役総数割合 1/3 (社内6名: 社外3名) (うち、女性 (社外) 1名)
マネジメント体制の強化	各種定例委員会 (人事報酬委員会、内部統制委員会、サステナビリティ委員会) の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・人事報酬委員会: 役員報酬を改定。固定報酬: 業績連動報酬 = 2:1 から 1:1 に変更、業績連動報酬の評価指標に ROE を追加 ・内部統制委員会: 腐敗行為の防止に取り組むため「腐敗防止方針」を策定 ・サステナビリティ委員会: CSR委員会をサステナビリティ委員会に変更、発展

※ CSR委員会は2021年6月、サステナビリティ委員会に改称しました。



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

経営理念と重要取組課題

7つの重要取組課題

重要取組課題の策定

取り組み目標の設定

> 今後の課題解決に向けて

● 健康・栄養

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

今後の課題解決に向けて

森永乳業は2018年度に「重要取組課題」を策定し、2019年度に各重要取組課題のKPIを設定しました。2019年度よりKPI達成のため、重要取組課題毎に進捗報告会を設け、「KPI推進リーダー」を中心として進捗管理を実施しました。また、KPIは世界的な潮流、ステークホルダーとの対話を通じて、適宜議論の俎上に載せ、検討していきます。

2022年より新たな新中期経営計画が始まります。サステナブルな社会実現のために脱炭素社会への貢献、プラスチック問題への対応、サプライチェーン上での人権尊重、などさまざまな社会問題に対して取り組みを進めていきます。